

# がんゲノム医療における課題

## ～遺伝関連専門職との連携～

ゲノム医療対応型がん看護専門看護師リカレントコースインテンシブセミナーの第四回として、がんゲノム医療における課題を取り上げ、がん医療に携わる看護職が遺伝関連専門職と連携を図りながら、がん患者・家族を支えるシステムづくりについて検討する予定です。

がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 2020年3月1日(日) 13:00～16:00

場所: CIVI 研修センター 新大阪東(E604)

大阪市東淀川区東中島1丁目19番4号

\* JR「新大阪」駅下車 東口から50m

地下鉄御堂筋線「新大阪」駅から徒歩5分



対象: がんゲノム医療中核拠点病院に勤務するがん看護専門看護師

\* 一部、連携拠点病院の看護師、CNSコース大学院生、教員含む  
(先着80名)

講師: 櫻井 晃洋先生(札幌医科大学医学部 遺伝医学教授/札幌医科大学附属病院 遺伝子診療科長)

無料

\* 事前申し込みとなります。

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先、領域等)を、**2020年2月20日(木)**までにご登録下さい。

<http://apnhyogo.net/seminar/>



—主 催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

(責任者: 内布 敦子)

## ■講師紹介

### 櫻井 晃洋(さくらい あきひろ)先生

新潟大学医学部をご卒業後、1987年にはシカゴ大学医学部甲状腺研究所の研究員、1994年より信州大学医学部(遺伝医学分野)の教員を経て、2013年より札幌医科大学で遺伝医学を専門とする教授として活躍される傍ら、同大学附属病院の遺伝子診療科長としてゲノム医療の臨床現場でも最前線で活躍されています。

日本人類遺伝学会評議員、日本遺伝カウンセリング学会理事、日本遺伝子診療学会理事、臨床遺伝専門医・指導医

## ■内容

「がんとゲノム」、「遺伝性腫瘍と遺伝カウンセリング」、「コンパニオン診断・がん遺伝子パネル検査と遺伝性腫瘍」の3つ内容についてご講演をいただき、がん医療を担う専門職が遺伝医療専門職と連携を図る方法やシステム作りの在り方を踏まえ事例検討を行う予定です。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局  
兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号  
TEL: 078-925-0860 FAX: 078-925-0858  
E-mail: ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo